

DX 推進で事業基盤強化

鴻池運輸、物流 DX 企業 Hacobu に出資

Hacobu との協業で、物流現場を革新

鴻池運輸株式会社（本社：大阪市中区、代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦、以下 鴻池運輸）は、データの力で物流の課題を解決する株式会社 Hacobu（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO 佐々木 太郎、以下 Hacobu）への資本参加を決定し、2025 年 5 月 21 日（水）に出資が完了しました。

物流現場では、労働集約型のスタイルのほか、紙帳票や FAX などを活用するアナログな職場環境が多くデジタル化の遅れが目立つことや、労働力不足の問題など、多くの課題が山積しています。

KONOIKE グループは、2030 年ビジョンで「技術で、人が、高みを目指す」のメッセージを掲げ、長年にわたり蓄積してきた人の知識・経験・ノウハウと最新技術を掛け合わせ、物流現場の技術革新・DX（デジタルトランスフォーメーション）を加速させています。その 2030 年ビジョンの具現化の一環となる今回の Hacobu への主な出資目的は、以下のとおりです。

①DX-ICT 基盤の強化

- ・ Hacobu のエンジニア、技術、ノウハウを活用したデジタル化推進、データ活用などの開発推進
- ・ 両社協働の新サービス・ツール開発
- ・ 鴻池運輸のグループ会社で IT サービスを提供するコウノイケ IT ソリューションズ株式会社、DX を支援するシャイン株式会社のサービスを、Hacobu の販売チャネルを活用し、販売強化

②定温物流現場のデジタル化の推進

- ・ Hacobu のクラウド型物流管理ソリューション「MOVO」シリーズを活用した DX 化・効率化

■鴻池運輸 執行役員 ICT 推進本部本部長 佐藤 雅哉

KONOIKE グループは、2030 年ビジョン「技術で、人が、高みを目指す」のもと、現場で培った知見と先進技術を融合させた技術革新・DX を推進しています。Hacobu 様との協業を通じて、デジタル基盤の強化、新サービスやそれらを統合したソリューションの共創、グループ内サービスやソリューションとの連携により、現場起点の変革を加速させることで、Hacobu 様のビジョンでもある「持続可能な物流インフラ」の実現に向け、業界の未来を共に切り拓いてまいります。

■ 鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証プライム市場	代表者	代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪市中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880（明治13）年5月	会社設立	1945（昭和20）年5月30日
資本金	1,723百万円	従業員数	約24,000名（連結） ※臨時雇用者数を含む
売上高	344,987百万円（連結）	営業利益	21,385百万円（連結）
事業内容	鉄鋼事業、エンジニアリング事業、食品関連／定温物流事業、食品プロダクツ関連事業、生活関連事業、メディカル事業、空港事業、国際物流事業、インド事業		

※資本金、売上高、営業利益、従業員数：2025年3月31日現在

（報道関係者様お問い合わせ先） 広報室 古屋、^{よしたに}霞谷 tel:03-3575-5753